

編集後記

今号も多くの方々のご協力を得て、発刊できました。感謝いたします。今号は全般に作業が遅れがちであり、ご迷惑をおかけしました。ここにお詫び申し上げます。

今年度も、多くの教育に関する話題がニュースにあがりました。昨年度と同様に、今年度もクラブ活動における体罰に関するニュースが私には目につきました。特に浜松日体高校のクラブ活動における体罰のニュースには、「昨年、桜宮高校バスケット部の事件があった後にも関わらず、こんな事が起こるとは」と驚きました。そして授業にて何度もとりあげました。

体罰についての感想や意見を求める学生のレポートを読むと、体罰に対して肯定的な意見を持つ者が散見されました。授業中に繰り返し人権尊重の大事さ、体罰の発生メカニズム等の話をする中で、そのような学生も意見を変えてくれる者がほとんどです。しかし中には、自分のクラブ活動の経験から納得しきれないという感想を書く学生もいました。この点について一筋縄にはいかないと感じたのが、率直な今年の授業の感想です。

ブラック企業という言葉がこの数年、耳にすることが多いですが、その関連に「ブラック部活」という言葉もあるそうです。学校におけるクラブ活動のあり方が私たちの働き方、生活に大きな影響を与える、逆に私たち自身の働き方、生活の有り様が子供達のクラブ活動に悪影響を与えていないか、そんなことを考える1年でした。

岡田圭二（経済学部准教授）

愛知大学教職課程研究年報 第3号

2014年3月20日発行

編集・発行 『愛知大学教職課程研究年報』編集委員会

〒453-8777 愛知県名古屋市中村区平池町四丁目60番6 愛知大学名古屋教務課
(電話 052-564-6112)

印刷 株式会社 豊橋印刷社
